

創立150周年記念事業「であう学習」



爽やかな風が吹き、過ごしやすい季節になりました。平素は、本校教育活動にご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

先日(9月26日)の創立150周年記念事業の1つ「であう学習」には、参観にお越しいただきありがとうございました。4～6年生で実施している「であう学習」の150周年バージョンを企画し、大学の先生方をはじめ地域の方々に「であう学習」を実施していただきました。当日に、ホームページの「ふしょうこ日記」で低学年の「であう学習」について紹介しましたが、今回は全ての「であう学習」の様子について紹介します。長くなりますが、目を通していただければ幸いです。

1,2年生 サッカー選手 村田 和哉 氏 に「であう学習」

1,2年生は、元Jリーガーで現在も現役のサッカー選手、村田 和哉氏をはじめ、ヴィアベンテン滋賀の皆さんに、夢授業をしていただきました。村田選手のお話を聞いたり、サッカーの対戦、PK合戦をしたりして楽しいひとときを過ごしました。2年生のお礼の手紙を紹介します。

「わたしがいちばんおもしろかったことは、足でボールをつかんだところがおもしろかったです。ボールを自由に動かせるのがすごいと思いました。」

「今日は来てくれてありがとうございました。おかげでサッカーにきょうみをもてました。ぼくのゆめはほねのはつつなのでがんばります。」プロ(本物)のすごさを味わうとともに、村田選手の夢の話を聞いて、自分の夢を実現するために努力する気持ちを持ってくれたようです。

**3～6年生 13のブースに分かれて本物に「であう学習」**

【黒ペンのヒミツを調べよう】 滋賀大学 糸乗 前 先生 大学生の皆さん
自分たちで「クロマトグラフィー」の実験をして、水性の黒ペンの色をわけました。黒はいろいろな色が混ざってできていることがわかりました。また、水やアルコール等の液体の種類によって、インクの溶け出すの速さが変わるという実験もしました。以下、児童の感想です。

「黒ペンを紙にちょんとするだけで、もとの色が浮き出てきてわかるという実験で、中に入る液体の違いで、スピードや色の順番などが違うということを知りました。家でもいろいろな色のペンで試してみようと思いました。」



【ワークショップ くっつけてつくろう!】 滋賀大学 青木 善治 先生

トウモロコシからできた、土にかえるやさしい素材「エコプラス」を使用。水を少しつけるだけで、ぴたっと簡単にくっつく「エコプラス」を使って、作品づくりをしました。簡単にくっつくことを楽しみながら、何をつくろうかと考えて手を動かしていました。保護者の皆様にも参加していただきました。

「であう学習で、エコプラスという物と言葉を初めて知って、名前のとおりエコなんだな~というのを少し感じました。あと、水をつけるだけでぬるぬるしてのりがわりになってすごいなと思いました。さらに、曲げたり切ったり、細くしたり自由自在にできて楽しかったです。」



【データサイエンティスト体験教室】 近江テックアカデミー（滋賀大学データサイエンス）の皆さん身近な題材を扱い、データサイエンスがいろいろなことに役立っていることを学びました。スーパーで行われている「バスケット分析」についても教えていただきました。学校の不手際で、準備していたことが十分に実施できず、子供たちにも講師の皆様にも申し訳ないことになってしまいました。

「パンを買ってジャムを買った人は多いのに、反対にジャムを買ってからパンを買った人は少なくてびっくりしました。データサイエンスでは、人の手で調べるよりも、一瞬で教えてくれておもしろいなど心から思いました。」



【保育の楽しさ】 滋賀大学 塩見 弘子 先生 大学生

幼稚園の生活の様子をビデオで見せていただきました。幼児の特徴や先生方の思いを知ることができました。また、折り紙を使ってコマづくりを楽しみました。保護者の皆様にも参加していただきました。

「幼稚園の先生はいろいろなことを考えながらやってくださっているんだなと思いました。おもしろかったことは、コマづくりです。最初は、折り紙だけでできるのかなと思っていたけど、コマができてびっくりしました。この経験で、幼稚園の先生になろうかなと思いました。」



【宇宙から見た太陽の世界】 滋賀大学 大山 政光 先生

人工衛星によって観測された太陽画像や動画を使って、身近な太陽について紹介していただきました。

「おもしろかったことは、クイズです。『大きさは?』『黒点って動くの?』など『何で?』がわかったので太陽の不思議が知れました。地球もすごく大きいのに、太陽と比べると点ぐらいだったから、想像できないくらい太陽が大きいと思いました。太陽のサイズが人間の何人分なのか気になりました。」



【おいしさのりゆう(さつまいもでじっけん)】 滋賀大学 久保 加織 先生 大学生

電子レンジと蒸し器で調理したさつまいもを食べくらべて、どうちがうか、それはなぜかを考えました。

糖度計を使って、糖度を測る体験もさせていただきました。

「あたためることによっておいしさが変わるということを人生で初めて知りました。『糖度』ということも知りました。電子レンジの方が美味しいと思ったら蒸し芋の方が美味しいことがわかってよかったです。見た目で決めるのではなく、一回食べて結果をまとめることが一番大事だと思いました。」



【くだもの探究ラボ～簡単な分析から「おいしさ」を考えよう】 滋賀大学 森 太郎 先生

大学生の皆さん

特別な道具を使ってブドウの「甘さ」や「硬さ」を調べました。糖度計で表れる数字と試食をとおして見た目だけでは、本当の甘さはわからないことに気付きました。

「色がうすいクイーンルージュの糖度が一番大きいことに驚きました。色がうすいと甘くないわけではないとわかりました。食べたとき、マスカットが一番おいしかったから、甘さとかたさがちょうどよいのがおいしいのかなと思いました。とても楽しい時間になりました。」



【「モルック」をやってみよう!】 滋賀大学 山田 淳子 先生 大学生・大学院生の皆さん

ボウリングとカーリングとビリヤードが混じったようなゲーム「モルック」を体験させていただきました。初めて体験する子供たちがほとんどでしたが、すぐにルールを理解し、考えながら挑戦する姿が見られました。

「今日初めてモルックというスポーツを知ったりやったりしました。今日の学習で一番楽しかったことはピンを倒すことです。理由は、どの数字のピンを倒すかを考えることが楽しかったです。」



【光のフシギ】 滋賀大学 徳田 陽明 先生 大学生の皆さん

透明なシートを使って色眼鏡を作ったり、黒い板と透明な板を使って万華鏡を作ったりしました。いつも見ている白い電気は、何色もあってそれが白く見えていること等がわかりました。

「光は重なって色が見えてくるということを初めて知りました。紙コップを回したら暗くなったり明るくなったりしてとてもおもしろかったです。虹色の7色が見えたりぼやけたり、いろいろな色がガラスみたいになっておもしろかったです。」



【おこづかいから学ぶお金の話】

ファイナンシャル・プランナーCFP®認定者 J-FLEC講師 熊谷 嘉隆 氏

テキストを使って、お金の使い方、お金の流れ、身の回りの危険、お金のトラブル、お小遣い帳の書き方等について学びました。「クイズ形式で説明したり、豆知識を教えてくれたりして楽しかったです。お金のことについてくわしく知れました。よい体験になりました。おこづかいの記録も書きたいです。」



【心のふしぎを知ってみよう】 滋賀大学 若松 養亮 先生

「心理学」は人間の心のはたらきについて研究する学問です。そこでわかってきたことを知ったり体験したりしました。人をお願いするときのコツや物事を覚えるときのコツなどを教えていただきました。

「心理学の目の錯覚の例を見せていただき、ありがとうございます。まんまとだまされたり、見えたりする画像もありました。目で見える世界だけではなく、目で見えない世界もあると知り、驚きました。」



【アート・ゲームで新しい〈わたし〉と〈あなた〉を発見しよう】 滋賀大学 村田 透 先生

アート・カードを使った美術鑑賞をしました。気軽に美術作品と出会いながら、真実は一つではない多様な見方・感じ方を楽しませていただきました。

「初め、アートと食べ物なんて合わないと思いましたが、先生の『答えなんかない。自分だけの想像』のひとことで、見方がいっきに広がりました。また、この機会にアートのことがいっきに膨らみました。」



【柿渋パビリオン～柿渋ワールドへようこそ】 滋賀大学 加納 圭 先生 大学生の皆さん

柿渋染めをした服に水をかけて柿渋染めされた衣類の撥水性を見せたり、実際に柿渋を見たり匂ったりすることで柿渋について教えていただきました。

「柿渋が防水などの効果があることを初めて知りました。柿渋に興味を持ちました。特に、いろいろなことに使えるところに興味を持ちました。どんな渋さかも気になりました。」



講師の先生方のご協力のおかげで、子供たちの心が動く瞬間がたくさんある貴重な体験学習となりました。今後の学びや生活に活かしてくれることと思います。長くなりましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。10月もよろしくお願いいたします。

11月15日(土)研究発表協議会の振り替え休日は、11月17日(月)です。

4月当初のお知らせから変更になり、ややこしいことで申し訳ありません。よろしくお願いします。